

ちいさな証

欧州在留21年、私の信仰生活

田辺みや子

フランクフルト日本語福音キリスト教会



1993年7月15日。私が58歳のとき、まさに「みちびき」としか思えない海外生活が始まったのです。私を胎内に作られた方（詩篇139:15、16）のご計画だったのでしょ。それから、今日まで約二十年という考えられない程の長い日々が過ぎていきました。日本にいた頃には考えてみたこともない大小様々な経験をさせていただきました。

信仰は望んでいる事がらを保証し、目に見えないものを確信させるものです。ヘブル11:1

ないようであるのが罪で、あるようで無いのが「信仰」といわれています。私も自分を含め同感です。「目に見えないもの」とは？あるとき、納得できたのです。それは神ご自身だ！ということ。神様は、聖書のあらゆるところでご自身を知る事を求めていらっしゃいます。

わたしは誠実は喜ぶが、いけにえは喜ばない。全焼のいけにえより、むしろ神を知ること喜ぶ。ホセア6:6
有名なマタイ7:7もこれで納得できたのです。求めなさい（続けなさい）。

私の信仰生活もまさに主を求めることにあっただけだということが分かったのは、そんなに昔のことではありません。そうなのです。今回の本帰国が決まったことが、このことをより確かなことにしたのかもしれない。

神は、みこころのままに、あなたがたのうちに働いて志を立てさせ、事を行わせてくださるのです。ピリピ2:13

私が母の胎内にいるときから、いいえ、その前から私を知ってくださる主のご計画が、実現したのだかと思えないのです。（詩篇139:16）

ところが、神の恵みによって、私は今の私になりました。そして、私に対するこの神の恵みは無駄にはならず、私はほかの使徒たちよりも多く働きました。しかし、それは私ではなく、私にある神の恵みです。私の小さな、小さな志を立ててくださった主が、今回の帰国という大きな決断に導き、すべてを主のみ手の中でお導きくださったことを確信し、心から主の御名を崇めています。

人間の心を探り窮める方は、御霊の思いが何かをよく知っておられます。なぜなら、御霊は、神のみこころに従って、聖徒のためにとりなしをしていてくださるからです。

神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。ローマ 8:28

わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。ヨハネ14:6 と、あります。

御子イエス・キリストがお生まれになったことを知った東方の博士たちのように、私は、聖書のみことばに導かれて今日に至りました。

あなたのみことばは、私の足のともしび、私の道の光です。詩篇119:105

これからの日々も、あなたの行く所どこにおいても、主を認めよう。そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる。

箴言3:6

とみことばにあるように、主の導かれる御手、導きの光ある所に従って行きたいと願っています。

これまでの私の歩みを導いてくださったみことばは、数えきれない程あるのですが、お一人お一人に、備えられているみことばは、必ずある筈です。それを信じて、みことばをひとつ、賛美のひとつをもって終わりたいと思います。

いま私は、あなたがたを神とその恵みのみことばに委ねます。みことばは、あなたがたを育成し、すべての聖なるものとされた人々の中であって御国を継がせることができますのです。使徒20:32



①迷える時 光を 疲れし時 命を
祈らば答えを給う 主は救い主なり

②真（まこと）と愛とに満ち 約束為
ししことを
必ず成し遂げ給う 主は救い主なり

③いずこに我が行くとも いかなる地に
住むとも 守りの手を伸（の）べ給う
主は救い主なり

聖歌 485 まよえるとき光を